

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		三世代住宅助成					所管	都市づくり部 住宅課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	200	計画事業名	三世代住宅助成			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] 誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまちの実現 [施策] 43 多様なニーズに対応した良好な住環境の整備					[事業開始] 昭和62年度		[終了予定] - 年度	
	根拠法令等	要綱	〔法令等名〕			台東区住まいの共同化と安心建替え支援制度要綱				
	事業対象	直接の対象 : 個人、団体(開発事業者) 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	空地の整備や地震・火災に強い建物への建て替えを促進することにより、防災性の向上を目指した良好な住環境整備を推進し、安心して住み続けられるまちづくりを実現する。								
	事業内容 [H30年度]	三世代同居の住宅で、バリアフリー整備や一定規模以上の空地を確保して建築する場合に、費用の一部を助成し、良好な住環境を整備する。(120万円)								
	委託の有無	なし	委託内容		無					
補助金の有無	国									
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R2年度 目標値	H28年度 実績	H29年度 実績	H30年度 実績 目標値 達成率			
	活動指標	助成件数	件	5	4	2	1	12	8.3%	
	成果指標									
	決算額 (単位:千円)				H28年度		H29年度		H30年度	
					(6,500)		(3,816)		1,200	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			(1,783)		(5,028)		2,557	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			(0)		(216)		0	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			(6,500)		(3,600)		1,200	
	総経費				(8,283)		(8,844)		3,757	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			(0)		(0)		0	
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			(2,456)		(1,080)		171			
一般財源(区負担額)			(5,827)		(7,764)		3,586			
課題及び今後の進め方	助成件数が目標に達していないため、事業周知に努める。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	住環境の向上に役立つとともに、三世代間の同居により少子高齢化対策に貢献するため、必要性が高い。							
	効率性	3	国の補助金を活用し、経費を抑えて効率的に事業を行っている。							
	手段の適切性	3	歩道状空地を確保し、市街地環境の向上に寄与している。また、定住化や住環境整備の一翼を担っている。							
目的達成度	1	区民・事業者の認知度の低さからか、助成件数は目標件数に達しなかった。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
本事業は、三世代同居を行う住宅の建築等を支援することによる空地の確保により、安全性・防災性向上等、良好な住環境整備に寄与するものである。助成件数については目標に達していないため、提携を結んでいる独立行政法人住宅金融支援機構等と連携して広報活動を行い、事業の周知拡大を行う。						改善		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		